

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS023-01

会場:303

時間:5月22日 09:00-09:15

生物地球化学の誕生と日本での展開

Development of the field of biogeochemistry in the world as well as in Japan

不破 敬一郎^{1*}

Keiichiro Fuwa^{1*}

¹ なし

¹ none

生物地球化学 (Biogeochemistry) の誕生にはロシアの科学者 V.I. Vernadsky (1863-1945) が深く関係している。Vernadsky は Biogeochemistry に関連して各地で講演を行い、1926 年著書 The Biosphere を発刊し、その内容はその後世界に多くの影響を与えた。日本との関係において重要と考えられる講演は、1923 年にパリで行われた講演である。というのもこの講演会に東北大学の高橋純一教授 (1887-1959) が出席し、Biogeochemistry に関する講演内容に感銘し、その内容を日本に伝えたからである。一方、東京帝国大学の柴田雄次教授 (1882-1980) も数年ヨーロッパ (ドイツ、フランスなど) に滞在し、帰国後地球化学・生物地球化学に関する研究を開始し、この研究に参画した多くの研究者に大きな影響を与えた。その中には木村健二郎教授、三宅康雄教授、南英一教授、Biogeochemistry を生物地球化学と訳した村上悠紀雄教授、山形登博士、菅原健教授、北野康教授など地球化学・生物地球化学の分野に優れた業績を残した著名な人々が含まれている。そしてこのような人々に続いて多くの優れた弟子や孫弟子輩出し、更に広く深くこの分野の研究が展開していることは申すまでもない。本講演ではこのような世界及び日本における地球化学・生物地球化学という学問分野の始まりについて御紹介し、生物地球化学の諸分野で活躍の皆様のご更なる発展と生物地球化学の新しい展開を期待したいと思う。